

新型コロナワクチンの集団接種会場において 濃度が不足するワクチンを接種した疑いについて

令和3年10月5日（火）10時過ぎ、宮前区の集団接種会場である宮前市民館において、不十分な濃度の新型コロナワクチンを接種した可能性があることが判明しましたので、御報告いたします。

9時24分から10時7分の間に接種を受けた29名（内訳：1回目接種13名、2回目接種16名）の中で、最大6名に濃度不足の恐れのあるワクチンを接種した可能性があります。

可能性のある29名には、本日中に電話で連絡し、状況及び今後の対応について御説明の上、お詫びするとともに、明日以降、文書をお送りいたします。

接種を受けていただいた方に深くお詫び申し上げます。

1 経過

令和3年10月5日（火）

8時45分～

- ・3バイアルで注射器18本分を準備し、18名に接種

9時10分～

- ・以降の接種に使用するワクチンの準備を開始

10時過ぎ

- ・9時10分以降に準備を開始した7バイアル目（通算10バイアル目）を注射器に充填した時点で、充填済みで未接種の注射器の本数が6本（1バイアル分）多いことが判明
- ・その時点で未接種として残っていた注射器19本は使用せず、新たなバイアルを使用して接種を継続
- ・従事した医療従事者が、責任者（市職員）に報告
- ・従事した医療従事者に、希釈方法等について確認するよう指示

2 原因

ファイザー社製のワクチンは、バイアルに規定量の生理食塩液を注入して希釈したのちに、指定の量を注射器に充填し、接種を行っています。

ワクチンを充填した注射器の本数を確認したところ、使用済みのバイアルに対し、注射器の本数が6本（1バイアル分）多いことから、注射器に詰めた後のワクチンが若干残っていたバイアルに、再度生理食塩液を注入し、濃度が不足したワクチンを6本分作成した可能性が高い状況です。

充填済みのバイアルを適切に廃棄せず作業台の上に置いたことから、手順の誤りが発生したと考えられます。

3 今後の対応

医療従事者に対し、充填後のバイアルを速やかに廃棄することを徹底させるとともに、希釈から充填までの手順を再度確認するよう指導しました。

濃度が不足するワクチンを接種した場合、健康被害が生じる可能性はありませんが、新型コロナウイルスに対する十分な抗体が生成されない可能性があるため、対象者全員について、2回目接種の終了後、抗体検査を行い、体内に十分な量の抗体が生成されているかを確認いたします。抗体が確認できない場合は、再度、ワクチン接種を行います。

【問合せ先】

（宮前市民館での集団接種会場の管理運営に関すること）

川崎市宮前区役所危機管理担当 藤平

電話 044-856-3146

（新型コロナワクチンに関すること）

川崎市健康福祉局保健所新型コロナウイルスワクチン調整室 神庭(かにわ)

電話 044-200-1085